

学校だより



青葉が丘

《教育目標》
未来社会を築く力を身に付ける生徒の育成

令和4年10月31日

第 8 号

別海町立上西春別中学校

発行責任 校長 根本 渉

「自分で考え、判断し行動する」

《文化祭》

観客の制限があった中ですが、見ていただいたように、手前味噌ですが、本当に素晴らしい「文化祭」でした。詳しくは裏面やブログをご覧ください。しかし、決して、順風満帆な文化祭ではなかったと思います。コロナ感染対策に加え、色々なトラブルやアクシデントがあった中でも、ルールや限られた環境の中で、生徒達が「解決に向けて、自分達で考え、話し合いをして判断した」結果がたくさんありました。先生方も、生徒の主体性を第一にそのようにコーディネートしてくれました。文化祭当日はもちろんですが、そんなプロセスがあった中で、当日を迎えたことが、何よりも素晴らしいと考えています。

《避難訓練》

また、今週の木曜日には、今年度2回目となる避難訓練を行いました。今回は、教頭先生の発案でこれまでと全く異なった「避難訓練」となりました。一つは「休み時間に行った」こと。もう一つは「先生が見守り指示しない」こと。つまり、生徒が各自のおかれた環境の中で「自分で考え判断し行動する」ことが求められた「避難訓練」でした。当日は、戸惑ったことはあったようですが、それぞれが自分なりに判断し行動していました。あらためて子どもたちにはその力があると認識しました。

《部分社会の法理》

日本は、「一般社会のルール」よりも「組織内のルール」を優先する傾向にあると言われています。震災時では、日本の人々の他者を思いやり規範意識を持ちながら生活した姿が世界の国々から賞賛をされました。しかし、それに反してニュース等で報道されるような、コンプライアンス（法令遵守）違反が度重なるのは、この「組織内のルール」を何よりも大切にすることが一因ではと言われています。もっと言うと、善悪の判断を放棄して周囲5メートルの人々に、自分の判断を合わせていることだと言われています。（出典:山口周「劣化するオッサン社会の処方箋」）

《エスニック・ジョーク～沈没船ジョーク》

それぞれの国民性の違いを笑いにする「エスニック・ジョーク」というものがあります。特に「沈没船ジョーク」が有名です。「さまざまな国の人を乗せた客船が沈みだした時に、それぞれの国の人へ、船長が何と言って船から脱出させるため海へ飛び込ませるか」というものです。

アメリカの人には「飛び込めばあなたはヒーローだ」、イギリスの人には「飛び込めばあなたは紳士だ」、ドイツの人には「飛び込むことがこの船の規則だ」だそうです。その他の国についてもそれぞれ誘い文句があるそうですが、では日本人には何と言ったのでしょうか。

「みんな飛び込みましたよ」

（出典:早坂隆「世界の日本人ジョーク集」）

《自分で考え判断し行動する力》

本校の教育目標は「未来社会を築く力を身に付ける生徒の育成」です。答えのない課題に、まわりの人々と協働し課題解決を図ることはこれからの未来社会を生き抜く目の前の子ども達に必要な力です。その土台はやはり、「自分で考え判断し、行動する」ことだと思います。

10月に行った前期学校評価アンケートでは、「自己有用感の向上にむけて自己選択・自己決定する場を設けるなど教育活動の中で意識している」という項目で、「どちらかというとも含み、全教職員が日常から意識していると回答しました。自分で考えずに、周りとおわせ正しい判断をしない人とならずに、ルールの基、限られた中でも、子どもたちが、より良い人生を選択できる力をつけるため、これからも、学校全体で取り組んでいきます。

文化祭「つくる」

10月21,22日に第49回文化祭が開催されました。テーマに相応しく、演劇や参加型の展示など、様々なアイデアと柔軟な発想でつくりあげた素晴らしい2日間となりました。来校された保護者の皆様からはたくさんの拍手とご声援をいただくことができました。また、特別時間割が始まり、本番までの2週間の間に、多くの「学び」と「成長」を感じることができました。学校ブログには沢山の写真を掲載しておりますので是非ご覧ください。写真の販売については、体育祭と同様に Web 申し込みとなります。詳しくは、後日お知らせいたします。



全道大会での活躍！！



陸上部の [さん]が根室地区の選抜チームの一員として全道駅伝大会に出場し、第2部（クラブチームや混成チーム）で4位に入賞しました。さんも区間4位の快走でした。

11月の行事予定

日	曜	行 事	部活	給食	バス	朝学
1	火	ALT来校 歯科指導(1,2年) 特別日課	○	○	16:00	×
2	水	フッ化物洗口 白鳥号 特別日課	○	○	16:00	×
3	木	文化の日	△			
4	金	全校集会(任命式)	○	○	16:00	学
5	土	吹奏楽部定期演奏会	△			
6	日		△			
7	月		○	○	16:00	読
8	火	ALT来校 食の指導(2年) 生と性の学習(3年) 入試説明会	○	○	16:00	読
9	水	フッ化物洗口	○	○	16:00	学
10	木	3年学力テスト(総合C) 学級審議(学活)	○	○	16:00	学
11	金	別教協一斉研	×	○	13:05	学
12	土	別海町少年弁論大会、バレー秋季大会(標津)	△			
13	日		△			
14	月	3年三者面談(~25日) 評議会① 個人写真撮影(3年)	○	○	16:00	読
15	火	ALT来校 拡大委員会 清掃カット	○	○	16:00	読
16	水	フッ化物洗口 白鳥号 評議会②	○	○	16:00	学
17	木		×	○	14:40	学
18	金	生徒総会	○	○	16:00	学
19	土		△			
20	日	3年生親子レク	△			
21	月	部活動停止期間(~23日)	×	○	16:00	読
22	火	ALT来校 フッ化物洗口	×	○	16:00	読
23	水	勤労感謝の日	×			
24	木	後期中間テスト 職員会議	○	○	14:40	学
25	金	お弁当の日	○	×	16:00	学
26	土		△			
27	日	2年生親子レク	△			
28	月	授業交流週間(~9日)	○	○	16:00	N
29	火	ALT来校 拡大委員会 清掃カット	○	○	16:00	N
30	水	フッ化物洗口 白鳥号	○	○	16:00	N

新聞を広げると世界が広がる！

「まわしよみ新聞」の充実を目標に、北海道新聞社様に依頼し、出前授業を実施していただきました。

「まわしよみ新聞」を簡単に紹介すると、3~4人の班に分かれて、新聞を読み、気になった記事を切り抜きます。それを模造紙にまとめて、他の班に紹介するという感じです。当日は先生方もチームを組んで生徒と一緒に活動しました。翌日の北海道新聞でも紹介されました。(下参照↓)



**気になった新聞記事
生徒同士で意見発表**

別海・上西春別中 道新社員を講師に



北海道新聞から気になる記事を切り抜く上西春別中の生徒たち

【別海】上西春別中学校 内容を充実させようと道新(根本渉校長)で「まわしよみ新聞を楽しく」を題し、北海道新聞社の社員を講師とする全校授業が行われた。1~3年の76人が北海道新聞を1人1部持つて十数班に分かれ、気になった記事を選び、切り抜いて模造紙に貼り、意見発表した。

別海町は「新聞の日」を設けており、月1回、全小中学校の児童生徒用に新聞を人数分購入。各校で新聞を読み込む授業を行っている。上西春別中は朝学習の時間に活動を続けており、2年生の [さん] (13)は「改めて新聞の読み方がわかった。他の人の意見を聞いてこんな記事もあるのか」と発見があった。3年生の [さん] (15)は「新聞は広げるだけで世界が広がる。楽しかった」と話した。(森朱里)